

# 不平等条約改正

不平等条約とは・・・1858年に結ばれた日米修好通商条約の中にある

領事裁判権をみとめる（日本で罪を犯しても日本の法律や制度で裁判にかけられないことがない。）

関税自主権がない（輸入される品物にかかる関税の税率を、日本が決めることができず日本のものが売れなくなる。）

こまったな



1886年に起きたノルマントン号事件によって、  
不平等条約改正を求める世論の動きが一気に高まる。

イギリス船ノルマントン号が沈没。イギリス人の船長・船員は脱出し、日本人乗客は水死。  
イギリスに領事裁判権を認めていたため 船長たちを日本の裁判にかけられなかった。



1894年・・・陸奥宗光がイギリスに対し領事裁判権の廃止

1911年・・・小村寿太郎がアメリカに対し関税自主権の廃止